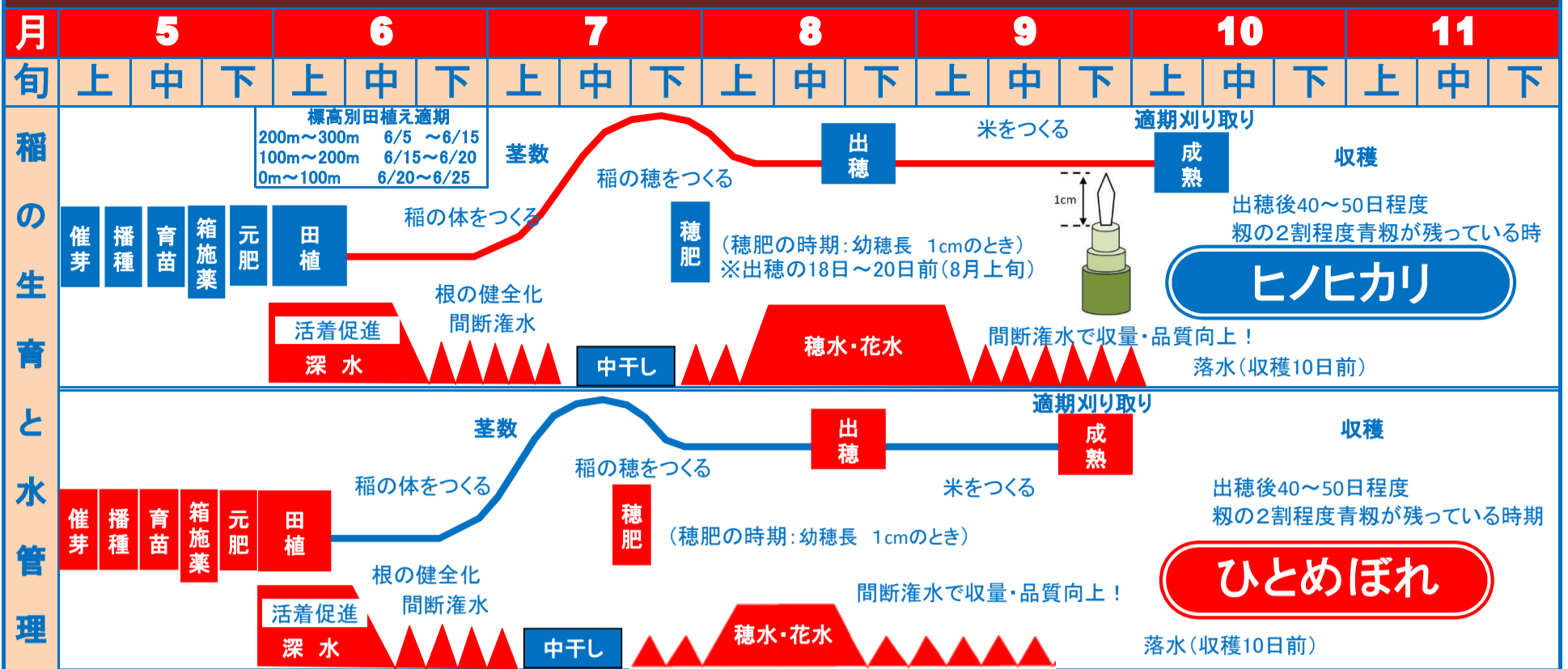


2021年度 豊後大野市水稻栽培暦 一般栽培用



獣害対策 鹿・猪
 鹿ネット設置・苗の食害防止
 電気柵の設置 猪等の侵入防止
 柵の点検・柵周辺の草刈
 天地返し 2番穂鋤込
 ~年内

栽培のポイント		品質向上のポイント							
育苗 ①箱消毒 イチバン(500~1000倍液) ②塩水選 うち比重 1.13(塩:4.0kg/水:20L) ③種子消毒 テクリードCフロアブル200倍+スミチオン乳1,000倍 24時間種子浸漬 ④浸種 積算水温で100℃を基準(水温18℃・・・6日間) ⑤播種 うす播き(120g~150g) ⑥苗立枯病対策 タチガレエースM液剤(500~1000倍)	田植 ※ヒノヒカリは高温障害が発生しやすいので極端な早植は避け、適期に田植を行いましょ。 <ul style="list-style-type: none"> ①1株植付本数3~4本。 ②株間 22~26cm (1坪当り 50~40株) <ul style="list-style-type: none"> 株間 22cm ⇒ 1坪当り50株 株間 26cm ⇒ 1坪当り40株 ③除草剤散布後は補植をしない。 ④補植苗は田より早急に撤去する。(いもち病の発生源) 	中干し 1株に茎数が20本程度確保できたら、田面にヒビが入る程度(ヒビの幅が約1cm)に干す。	病害虫	稲	い	カ	ウ	い	
			防除時期	出穂	出穂	出穂	出穂	出穂	出穂
			薬剤名	スクラム箱粒剤	Zボルドー粉剤DL	コラトツップ粒	スターライク(2成分)	スタームエイト(2成分)	スタームエイト(2成分)
施用量	50g/箱	3kg~4kg/10a	3kg~4kg/10a	3kg~4kg/10a	1000倍・60L~150L/10a	1000倍・60L~150L/10a	1000倍・60L~150L/10a		

除草剤の使い方

初・中期一発剤	移植時・直後~30日	バッチリLX (粒・ジャンボ・フロアブル)	ノビエ 2.5葉期
	移植時・直後~30日	エンペラー (粒・ジャンボ)	ノビエ 3葉期
	移植時・直後~30日	サラブレッドKAI (粒・ジャンボ・フロアブル)	ノビエ 2.5葉期

移植後の除草剤散布のポイント

7日間水を入れない！ 間断灌水

2~3日田面が出てても除草効果に影響なし

自然な減

●粗大有機物投与による土壌改善
 ●土壌改良剤による調和のとれた土作り
 ●深耕による有効土層の拡大
 ●3年に1度の土壌診断による適正管理

堆肥や稲わらを還元しない圃場では、地力の低下が懸念されます。地力の低下は、収量だけでなく、検査等級や食味の低下をもたらします。土壌診断を実施し、足りない要素を補いましょう。

有機物の施用方法
 稲わらの鋤き込み(分解促進には「ワラ分解キング」)、「アグリ革命」等の資材を活用)

土壌改良材の施用方法(耕起前)
 普通田 ケイカル、ミネラルG 100~200kg
 とれ太郎 50~60kg
 けい酸加里プレミアム34 40kg
 土改王 60~90kg
 湿田・砂湿田 珪鉄 150~200kg

秋落ち現象(根腐れ)防止と倒状及び病害虫の軽減効果を図るため、必ず施用する。

肥料の施し方

	商品名	成分(%)				施肥量(kg)/10a	窒素成分量(kg)
		窒素	リン酸	カリ	その他		
通常分施	元肥	化成肥料12-18-14				ヒノヒカリ 30~40	3.6~4.8
	穂肥	化成肥料16-0-16				ヒノヒカリ 15~20	2.4~3.2
一発肥料	苦土入りエムコート477 (100日)	14	17	17	Mg3	ヒノヒカリ 45~50	6.3~7.0
		14	17	17	Mg3	ひとめぼれ 30~35	4.2~5.0
	くみあいBB一発033	20	13	13		ヒノヒカリ 30~35	6.0~7.0
		20	13	13		ひとめぼれ 20~25	4.0~5.0

※施肥量は土壌、地力、施肥方法、天候等により適宜増減してください。 発行:JAおおいと豊後大野市農事課 監修:豊後大野市農産流通課、豊後大野市農作物病害虫防除協議会、豊後大野市農作物部